

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
6.0a	システムリカバリ機能	クライアントPCのリモート登録を実行した場合、"デプロイメントサーバとの接続に失敗しました"と表示され、登録に失敗する場合があります。	プログラムを改修しました。	上 上+資源OP 特上 Rel.6.0	以下のサービスを再起動することで、現象を回避することが可能です。 "Deployment Service" コントロールパネル>管理ツール>サービスを起動し、上記サービスの再起動を行ってください。	
	システムリカバリ機能	Windows2000のOSにて瞬快管理機能を起動させようとすると"指定されたモジュールが見つかりません"というメッセージが表示されて、起動に失敗する場合があります。	プログラムを改修しました。	上 上+資源OP 特上 Rel.6.0	回避モジュールをご用意しておりますので、弊社までお問い合わせください。	
	システムリカバリ機能	クライアントPCのリモート登録中に、システムリカバリサーバのDeployment Serviceがアプリケーションエラーを起こす場合があります。	プログラムを改修しました。	上 上+資源OP 特上 Rel.6.0	以下のサービスを再度起動した状態で、管理機能より再度"クライアントPCのリモート登録"を開始することで回避することが可能です。 "Deployment Service" コントロールパネル>管理ツール>サービスを起動し、上記サービスの再起動を行ってください。	
	セットアップメニュー画面	機能追加。	CD-ROMを挿入した時、製品に関する重要なお知らせがある場合にその内容を表示する機能を追加した。	ALL Rel6.0	なし	
6.0b	インストーラ共通	制限解除。	以下のOSをサポート対象OSに追加しました。 ・Windows Vista Enterprise ・Windows Vista Ultimate ・Windows Server 2003 SP2	ALL Rel6.0a以前	なし	サポートOSの詳細については必ずソフトウェア説明書をご確認ください。
	クライアント機能	制限解除。	以下のOSで、リモートログオンできない制限を解除しました。 ・Windows Vista HomeBasic ・Windows Vista HomePremium	ALL Rel6.0a以前	なし	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加。	以下のウイルス対策ソフトに対応しました。 ・Symantec AntiVirus Corporate Edition 10.2("改変対策を無効"に設定してください) ・F-Secureアンチウイルス クライアントセキュリティ ver 7.0 ・McAfee VirusScan Enterprise 8.5i	ALL Rel6.0a以前	なし	OSごとに対応しているウイルス対策ソフトについては必ずソフトウェア説明書を参照してください。
	クライアントインストーラ	機能追加。	瞬快クライアントをサイレントインストールする時に使用するサイレント定義ファイルを簡単に作成するツールを追加しました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
	管理機能インストーラ	機能追加。	瞬快管理機能インストール時にマニュアルやソフトウェア説明書をショートカットメニューに登録しました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
	クライアント機能	瞬快クライアントを修復無効モードに変更した後に動作モードを修復モードに変更すると、修復スケジュールが必ず毎回起動時修復に設定されてしまう。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
	クライアント機能	瞬快のログオンパネルの設定機能にて、ログオン先のドメイン名を設定した環境において、ログオンパネルでCtrl+Alt+Delキーを押下し、その後ESCキーを押下し、再度Ctrl+Alt+Delキーを押下すると、ログオン先が「ドメイン」から「ローカル」になってしまう場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	ログオンパネルの設定を行う前に、ドメインにログオンしてください。(一度でもドメインにログオンした後はワークグループに戻しても問題ありません。)	
	クライアント機能	WindowsVistaクライアントに対して、ログオンパネル機能で"指定されたユーザ名およびログオン先を表示させる"が設定できない。	ログオン先がドメインの場合には設定できるようにプログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前 Windows Vistaのみ	なし	
	瞬間復元ドライバ	起動時にブルースクリーン(0xc0000218)が発生する場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	ログイン後放置しておくでブルースクリーン(0x0000008E)が発生する場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	WindowsVistaで運用中にブルースクリーン(0x0000007E)が発生する場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前 Windows Vistaのみ	なし	
	瞬間復元ドライバ	OS起動時に「前回OSが正常に終了していない」という旨のメッセージを表示して停止する場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	OS起動後に、しばらく立ってからOSがハングアップする場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	OS起動しドメインへのログイン処理中に再起動する場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	Google Desktopのインデックスファイルを修復対象外に設定したらブルースクリーンが発生する。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
瞬間復元ドライバ	修復対象外ドライブに瞬快のワークフォルダが作成され見えてしまう場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	対象の修復対象外ドライブの空き容量を十分に確保することで回避可能です。		
瞬間復元ドライバ	WindowsVistaのエクスプローラ上で「圧縮フォルダ(ZIPファイル)」を作成し、そのフォルダにファイルをドロップして圧縮させると、元のZIPファイルが削除され別の名称のZIPファイルが作成される。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前 Windows Vistaのみ	なし		

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	ファイルフォルダ修復モード時に、IE7のフォーム部分で日本語変換ができない。発生条件は以下の通り。 Vista、IE7(保護モード)、Office2007添付のMS-IME2007 Vista標準のMS-IMEを使用している場合は本現象は発生せず。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.6.0a以前 Windows Vistaのみ	UACを解除してください。	
	瞬間復元ドライバ	Windows Vista環境で、ファイルフォルダ修復モード時に、IE7においてページがプリントアウトできない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.6.0a以前 Windows Vistaのみ	UACを解除してください。	
	瞬間復元ドライバ	Windows Vista環境のIE7でFlashを見ることができない。 AdobeのサイトからFlashプレイヤーのダウンロードも失敗する。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.6.0a以前 Windows Vistaのみ	UACを解除してください。	
	瞬間復元ドライバ	瞬快がインストールされているとIDE接続のMO装置を認識(ドライブが割り当たらない)しない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.6.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	ファイルフォルダの修復モード時に、ドライブ全体を修復対象外に設定すると、そのドライブで瞬快のワークフォルダが見えてしまう。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.6.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	Windows Vista環境においてProgramFilesフォルダ配下で変名に失敗する。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.6.0a以前 Windows Vistaのみ	なし	
	瞬間復元ドライバ	エクスプローラで、同一フォルダ内でファイルをコピー(Ctrl+C)し貼付け(Ctrl+V)すると失敗する。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.6.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	修復モード中に「読み取り専用」属性のファイルの、「読み取り専用」を外し、ファイルを更新した時に、ファイルの更新に失敗する。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.6.0a以前	なし	
	管理機能	機能追加。	クライアントPCのプロパティで入力できるコメント情報を管理機能のリモート操作タブ画面のクライアントリストに表示できるようにしました。	ALL Rel.6.0a以前	なし	
	クライアントインストーラ	瞬快クライアントのサイレントインストールで、「メール通知」機能を無効にする設定ができない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.6.0a以前	なし	
	システムリカバリ機能	クライアントPCのリモート登録を行った後、電源OFFが失敗する場合がある。	実行する機種によって、ACPIを利用する電源OFF方式が正しく動作しないことがありました。クライアントPC毎に、電源OFF方式を選択できるようにしました。	上 上+資源OP 特上 Rel.6.0a以前	回避モジュールをご用意しておりますので、弊社までお問い合わせください。	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ機能での配信後に、クライアントPCで表示される残り時間のダイアログが複数個表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	上 上+資源OP 特上 Rel.6.0a以前	なし	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ管理機能を利用する際、サービスのコピーを利用して新しいサービスを作成し、そのサービスを実行しようとすると、「パラメータエラーです。」とメッセージが表示されて正しく実行できない場合がある。	プログラムを改修しました。	上 上+資源OP 特上 Rel.6.0a以前	サービスを再作成してください。	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ機能を利用して、ディスクイメージの配信を行うと、DNS設定のひとつである、「この接続のアドレスをDNSに登録する」の設定を無効にしているも、有効となってしまう。	左記に示すDNS設定を、引継ぐようにプログラムを改修しました。 ただし、WindowsXP上でSysprepを利用して展開する場合は、Sysprepにより設定が初期化され、引き継ぐことができません。	上 上+資源OP 特上 Rel.6.0a以前	イメージ配信後、各クライアントPCのDNS設定を変更してください。	
	システムリカバリ機能	マルチキャスト配信処理において、一部の対象パソコンの電源がオンされなかった場合、永遠に電源ONされるのを待つ。	初期設定を変更し、マルチキャスト開始から30分経過後に自動的に配信が開始されるように変更されました。	上 上+資源OP 特上 Rel.6.0a以前	回避方法をご用意しておりますので、弊社までお問い合わせください。	
	システムリカバリ機能	WindowsUpdate連携のイメージ取得オプションを有効にして取得した場合、取得したディスクイメージを配信すると、瞬間復元機能が動作しなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	上 上+資源OP 特上 Rel.6.0a以前	なし	
	WindowsUpdate連携機能	修復無効モードでのパッチのインストール中に強制キャンセルを実行すると、キャンセルが実行された時点で複数個パッチが適用されていたとしても、実行結果には0個と表示されてしまう。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.6.0a以前	更新モードでパッチを適用してください。	
	リモート画面操作機能	Windows Vista環境でUSBキーボードを利用しているPCに対して、リモート画面操作機能コンソールから「Ctrl+Alt+Del」の遠隔操作ができない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.6.0a以前 Windows Vistaのみ	なし	
	リモート画面操作機能	Windows Vista環境のクライアントPCに対して、リモート画面操作機能コンソールからショートカット「Windows + L (コンピュータのロック)」が実行できない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.6.0a以前 Windows Vistaのみ	なし	
	管理機能	リモートログオン機能において、ワークグループ運用のクライアントPCに対して「ログオン先」に存在しないドメイン名を指定すると、「正常に終了しました」と表示されローカルコンピュータにログオンされてしまう。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.6.0a以前	なし	